



## クロック カードの設定

---

Cisco Cable Clock Card のインストールでは、カードを取り付けたあと、プライマリ / セカンダリ T1 インターフェイスの設定を行う必要があります。内容は、次のとおりです。

- [ソフトウェアの最小要件 \(p.4-1\)](#)
- [クロック カードの設定および診断に使用する Cisco IOS コマンド \(p.4-2\)](#)

### ソフトウェアの最小要件

クロック カードを Cisco uBR-MC16S または Cisco uBR-MC16E ケーブル インターフェイス ラインカードとともに設定する場合は、Cisco IOS Release 12.1(1a)T1 以上または Cisco IOS Release 12.1(2)EC1 以上が必要です。Cisco uBR-MC28C ケーブル インターフェイス ラインカードをクロック カードとともに使用する場合は、Cisco IOS Release 12.1(3a)EC1 以上が必要です。Cisco uBR-MC28U/X カードを使用する場合は、Cisco IOS Release 12.2(15)CX 以上が必要です。



(注)

---

Cisco uBR-MC16C などの他のケーブル インターフェイス カードをクロック カードとともに使用できますが、他のケーブル インターフェイスはダウンストリーム SYNC メッセージを外部クロックソースと同期化しません。

---

## クロックカードの設定および診断に使用する Cisco IOS コマンド

表 4-1 に、クロックカードの設定および診断用の基本的な Cisco IOS コマンドを示します。これらのコマンドを使用して、クロックカードの初期設定およびインストールのトラブルシューティングを行うことができます。完全なコマンド構文およびコマンドライン機能の詳細については、『Cisco uBR7200 Series Universal Broadband Router Software Configuration Guide』を参照してください。

表 4-1 クロックカード用の Cisco IOS コマンド

コマンドライン	説明
<b>EXEC コマンド</b>	
<b>show cable clock</b>	プライマリ / セカンダリ 接続のソースおよびステータス、タイムスタンプ リファレンス情報、クロックカードの現在のオペレーションモード、ハードウェア障害、ミッドプレーンのクロック信号ソース（アクティブ時）など、クロックカードのステータス情報を表示します。
<b>show controllers clock-reference</b>	クロックカードのハードウェア情報および現在のレジスタ値を表示します。
<b>cable clock clear-counters</b>	<b>show controllers clock-reference</b> コマンドによって表示されるカウンタをリセットします。
<b>コンフィギュレーション コマンド</b>	
<b>[ no ] cable clock source-midplane</b>	クロックカードをルータの内部 TDM ミッドプレーンクロック信号にロックし、信号を配信します。
<b>[ no ] cable clock force {primary   secondary}</b>	プライマリまたはセカンダリ インターフェイスを強制的に有効または無効にします（ホールドオーバーモードが使用できない場合は実行できません。）
<b>サポート コマンド</b>	
<b>show version</b>	クロックカードが搭載されているかどうかなど、ルータの重要情報を表示します。
<b>show tech-support</b>	クロックカードのタイミング基準（クロックカードが搭載されている場合）を含む、ルータの現在のステータス情報を出力します。
<b>show diag</b>	クロックカードの重要情報（クロックカードが搭載されている場合）を含む、ルータの診断情報を表示します。